

科目名	デザイン実習3 [グラフィック] (卒業必修)		
授業形態	実習	学年	2
開講時期	2023年度 後期	単位数	2
担当教員	本田 陽一		
内容および計画	一年生で学んだ基礎を元に、より実践的なグラフィックデザインの課題に取り組みます。		
1	●グラフィックデザイナーを知る 海外や国内有名デザイナーの経歴や作品観賞をすることでグラフィックデザインの全容を学ぶ		
2	●構成 カタチ・色彩・文字 1 ポスター制作/1学年で習得したグラフィックデザインの集大成として先ずこの課題に取り組んでみる。 グラフィックデザインは「レイアウト・構成」が要である。 文字の書体の選択、ポイントの大小、絵柄の選択、トリミング等、これらの組合せにより、イメージは様々に変化する。 美しく訴求力のあるレイアウトの習得こそデザイナーが学ばなければならない基本の技術である。 この課題では、支給された文字の原稿、写真、絵柄等を駆使して、告知用ポスターを制作してみる。(リ・デザイン)		
3	●構成 カタチ・色彩・文字 2		
4	●構成 カタチ・色彩・文字 3		
5	●ロゴタイプ 1 企業や公共施設、そして商品などの固有の名称に、特別の造形的個性を与え、訴求しようとする書体を「ロゴタイプ」と総称します。 ロゴタイプは制作される目的ごとに、読みやすいニュートラルな性格の造形性のものから、非常に個性的で、多少可読性を犠牲にしても強いインパクトを与え、目立ち、際立ちを求めるものまで、様々なデザインがあります。 特に後者はロゴでありながら、マークとしての性格も強いいため、これを「ロゴマーク」と称する場合があります。 実習では、自分の名前を題材にして、ロゴタイプを制作する。		
6	●ロゴタイプ 2		
7	●ロゴタイプ 3		
8	●広告 1 広告媒体にはテレビ・新聞・ラジオ・雑誌・交通広告・ネットなど様々な媒体(メディア)があります。クライアントは目的に応じて最適なメディアを選び効果的な広告を施します。 新聞広告 そのひとつに新聞広告があります。新聞は朝家庭に配達されたり、駅の売店、コンビニ等でも購入できます。 内容は政治・社会・文化・ローカルのトピックなど新聞社によって特徴があり読者も自分に合った新聞を愛読しています。 また新聞には毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞などの中央紙、福島では福島民報、福島民友が代表的な2紙です。 この課題では、地方紙の新聞広告を制作する。		
9	●広告 2		
10	●広告 3		
11	●広告 4		
12	●COLORS IN LIFE 暮らしの中の彩(いろどり) 1 衣食住、暮らしの中に生きるさまざまな色。それはデザインを通して、社会的に機能したり、暮らしを豊かにする役目も果たしています。 その中から、それぞれ一つの色を選び、自分が生活する者とクリエイターとしての双方からの客観的な視点で「暮らしの色」を見つめてみる。 そこで意図とする『色』と「テーマ(自由)」を決め、それに関係した作品を制作する。 [課題のねらい] *テーマカラーを元にしたデザイン制作を主に		

	的確な伝達表現を施した展示法、プレゼンテーションの重要さも学ぶ。		
13	●COLORS IN LIFE	暮らしの中の彩 (いろどり)	2
14	●COLORS IN LIFE	暮らしの中の彩 (いろどり)	3
15	●COLORS IN LIFE	暮らしの中の彩 (いろどり)	4

教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

課題により、適切な資料を用意します。

参考書	
-----	--

成績評価	
評価方法	割合(%)
表現結果だけでなく毎回の制作途中のスケッチや考え方を重視します。	60%
課題に真摯に取り組む姿勢を大切にします。	10%
柔軟な発想に期待します。	10%
社会に対してデザインがどの様に役立つか？常に考慮すること。	20%

学習到達目標	実践に即した柔軟な考え方、ノウハウそして技術の習得。
先修条件	考えるデザイン
実務経験	課題については、実際デザイン事務所などで行われているシステムで進行します。 目的・条件そして締め切りの3原則になります。
その他	